

令和2年1月

大野市教育委員会臨時会
会議録

日 時：令和2年1月16日（木）午後3時～午後4時20分

場 所：大野市役所 談話室

大野市教育委員会 1 月臨時会 次第

令和 2 年 1 月 1 6 日 (木)

午後 3 時～ 談話室

1 開会

会議録署名人 麻生委員 馬道委員

2 付議事項

1) 乾側小学校耐震対策に関するアンケートについて

資料 1

3 その他

4 閉会

<出席者>

	教育長	久保俊岳
	職務代理者	麻生博之
	委員	關園子
	委員	馬道保
事務局（説明者）	事務局長	清水啓司
	教育総務課長	横田晃弘
	学校教育審議監	千田佐
（書記）	教育総務課企画主査	竹田雄次

<傍聴者>

0人

【開会】

【教育長】ただいまから大野市教育委員会 1 月臨時会を開会する。

——<大野市教育理念の唱和>——

【会議録署名人】

【教育長】松谷委員から欠席の届出があったので報告する。本日の会議録署名人は、麻生委員、馬道委員に願います。

【付議事項】

【教育長】12月市議会において、乾側小学校の耐震対策に係る補正予算が認められなかった。この件については、12月末に未就学児を含めた乾側地区の保護者の方々に報告を行ってきた。その場で、教育長として3点申し上げた。1点目は、これまでもそうであったように子どもたちのことを最優先に考えていきたいということ。2点目は、その観点で、保護者の皆さんが心を一つにしてまとまってほしいということ。3点目は、全体の前ではなかなか自分の意見を言えないことから、何らかの方法で個人個人の胸の内をお聞きしたいということである。

今、我々に課されている課題は、保護者及び地区住民の皆さんの総意をいかに把握し、今後の対応を考えていくかということである。その方法について事務局から提案する。皆さんの目線から、いろいろな角度からご意見をいただきたいので、よろしく願います。

付議事項1) 令和元年12月大野市議会の報告について、事務局の説明を願います。

——<教育総務課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があれば願います。

【麻生委員】難しい問題ではあるが、早急に方向性を決定しなければ、子どもたちが安心できない。今までも意見集約は行ってきたわけだが、平行線を辿っている。住民説明会を開いても参加者は少ない。市民の関心度がこのような結果につながっているのだと思う。

【教育総務課長】保護者は、意見交換会の場では、なかなか自分の意見を言えない方が多い。強い意見を言われる方もおり、自分の意見を言いにくい雰囲気がある。そのような意味で、市議会としても個別に意見を聴取されたいという意

向があるのだと思う。

【馬道委員】意見交換会や説明会では、先行再編をしてほしいという意見と耐震対策をしてほしいという両方の意見が出たのか。

【教育長】住民対象の意見交換会では両方の意見が出た。保護者対象の意見交換会では、2、3人の方から耐震対策をしてほしいという意見が出た。12月25日の議決結果の報告会には、未就学児の保護者の方も何人かいらしていたが意見は出なかった。

【關委員】上庄地区の教育環境を考える意見交換会に参加したが、とても意見を言えなかった。PTAの役員や区長が多く集まっている中で、一保護者が再編を早く進めてほしいというような意見は言えない。PTA総会などでも意見を言う方はいつも決まっていて、他の人は「まあ、それでいいか」という感じで流れていく。未就学児の保護者は、まだ学校に入っていないので学校のことが分からない。その状態で発言していいのかという遠慮があると思う。しかし、このような重要なことについては、意見を言ってもらいたいし、無記名で郵送のアンケートであれば、誰にも知られないので、自分の思いを自由に発言できる。保護者としてはありがたい方法だと思う。

乾側地区以外の保護者の方からは「2億円もかけてリースで乾側小学校の耐震対策をする意味があるのか。」ということをよく言われ、「子どもたちに安全に教育を受けられる環境を平等に提供することは重要である。」と説明しても、まったく理解を得られない。既に学校再編した地域の方からは、「なぜここまで揉めるのか。自分たちも学校を残してほしいと思ったが、子どものことを考えて再編を進めた。」という声を聞くことが多い。

【馬道委員】私は阪谷小学校と六呂師小学校を統廃合したときに阪谷小学校の校長だった。前教育長から、保護者からの苦情や子どもたちの困っている様子はないかと常に聞かれたが、そのようなことはなかった。富田小学校と森目小学校、蕨生小学校が統廃合したときには富田小学校の校長をしており、同じように前教育長から保護者からの苦情や子どもたちの困っている様子はないかと聞かれたが、そのようなことはなかった。スクールバスに関しては、保護者の苦情や子どもたちが不便を感じている様子はなく、学校生活についても保護者の苦情や子どもたちの困っている様子はなかった。これらの情報も住民説明会では参考にしてもらいたい。

六呂師小学校を統廃合したときには児童数は少なかったが、その後、六呂師地区の児童数が増え、16人がスクールバスに乗って登校していた。現在、乾側小学校の児童数は16人である。また、蕨生小学校を統廃合したときには、19人の児童がいた。これだけの児童がいたのに、よく地区の方は統廃合に同意したと思う。前回の会議で、なぜ乾側小学校だけを特別扱いするのかという話を聞いたときに、このことが心に残っており、あれだけの児童数があったのに統廃合したのだと改めて思った。

【**關委員**】「なぜ乾側小学校だけ特別扱いするのか。」という声はよく聞く。「これだけの児童数になったから統廃合する」というわけにはいかないのか。六呂師小学校や蕨生小学校は、どうやって統廃合を進めたのかと思う。蕨生小学校が統廃合する前に、保護者の方からは「一日も早く統廃合してほしいのに、なかなか進まない。」という話をよく聞いた。乾側小学校は、有終西小学校も下庄小学校も近くにあるのに、なぜそんなに現在の校舎にこだわるのかと思う。「旧蕨生小学校は新しく、子どもたちものびのび学校生活を送っているだろうから、ずっと旧蕨生小学校に通えばいいのではないか。」という意見も聞く。外から見るとスクールバス通学になって大変だと思うが、実際に乾側小学校の子どもたちはどう思っているのか聞きたい。

【**審議監**】乾側小学校の校長からは、1年生の児童がスクールバスに乗っている時間が30分と長く、頭痛がするという訴えがあったという話と、2学期にその児童が1人で下校する日があったため、少し不安があったという話を聞いた。乾側小学校の児童は全員、放課後子ども教室を利用するために乾側公民館に行くので、1年生の児童を学校で学習させておいて2年生と一緒に下校させてはどうかと提案した。校長もそのようなことを考えているということだった。2学期の終わりには頭痛を訴えていた児童も回復し、他の児童は元気に通学しているということだったので、スクールバスについては心配ないと考えている。学習に関しては、のびのびと楽しく学習していると聞いている。

【**教育長**】2学期の保護者会でも、旧蕨生小学校に通うことについて、保護者から不安の声は出なかったと聞いている。

六呂師小学校や蕨生小学校の学校再編については、平成16年に策定した学校再編計画に基づいて実施した。

【**審議監**】平成16年の学校再編計画より再編時期は遅れたが、計画に基づいて住民の方に説明を重ね、再編を進めていった。乾側小学校とは異なり、学校再編計画に従って再編を行ったということである。

【**教育長**】平成16年に策定した学校再編計画により、六呂師小学校を平成18年に、森目小学校を平成22年に、蕨生小学校を平成24年に再編した。

【**教育総務課長**】あくまで学校再編計画があり、その計画に基づいて地元の了解をいただいて再編を行った。現在は、平成29年に策定した学校再編計画の見直しを行っているところであり、乾側小学校をどうするという具体的な計画がない。そのため、教育委員会からどうしてくださいということが言えない状態である。逆に地元から先行再編したいという要望があれば対応はできる。そのような状態の中で、地元の意向を把握するためにアンケートを行いたいという提案である。

【**麻生委員**】保護者は住所を変えてでも他の学校へ行かせるわけであり、住民の総意を得るといってもなかなか難しい。

【**關委員**】アンケートを実施することで、他の学校へ行かせたいと思っている人

は、先行再編を進めてほしいと言うことができる。

【麻生委員】市議会も子どもたちのことを考えて、補正予算案を差し戻したのだと思う。

【教育長】保護者には、子どもたちのためにどのような形が一番望ましいのかを考えて一つにまとまってほしいと話した。今後、児童が増えることは考えにくい。このような状況で、どのような形が子どもたちのためになると思うか、各委員の意見をお聞かせ願いたい。

【麻生委員】乾側小学校以外の学校へ通わせている保護者がいる現状を考えれば、学校教育の色々なカリキュラムを考えても、先行再編を進めるのが適当だと思う。児童数が増える要素はなく、現状を受け止めるしかないと思う。適正規模には色々な考え方があると思うが、全校児童数が16人では適正規模とは思えない。

【教育長】乾側小学校の現在の学級編制はどのようになっているのか。

【審議監】1年生が1人、2年生が1人、3年生が2人、4年生が4人、5年生が3人、6年生が5人である。

【麻生委員】複式学級のため、同じ教室で2つの学年が背中合わせになって授業を受けていると聞いている。

【關委員】学校再編の視察に行った自治体の中には、適正規模の基準をあらかじめ決めておき、児童生徒数その基準を下回ったら統廃合している自治体があった。そのような基準を作っておくと、保護者は納得しやすい。

乾側小学校については、近くに学校があるので先行再編したほうがよいと、他の地区の多くの方が思っている。乾側地区の方も半数程度はそうに思っていると思う。そのような方向に動いていないのは、何か壁があるのだと思う。また、意見を飲み込んでいるので、教育委員会に伝わってこないのだと思う。

【教育長】意見を出しにくい人のために、無記名のアンケートという方法を考えた。個別に訪問して意見を聞く方法も考えたが、匿名性を確保するためにはアンケートの方が適当だと考えた。

【關委員】小さい地区のため、自分が言ったことが他の人に伝わってしまうのではないかという不安が大きいのだと思う。また意見を聞くのかと思う人もいると思うが、このアンケートは行った方がよい。

教育委員会が提案した耐震対策は市議会で否決されたが、市議会に提案したことで、教育委員会が子どもたちに安全に教育を受けられる環境を平等に整えたいと考えている誠意は乾側地区の保護者にも伝わっていると思う。

【教育長】もう少し意見を出し合える話し合いになればよかったが、なかなかそれは難しいので、アンケートという方法を考えた。学校は子どものためにあるという思いでまとまってもらえるとよい。

アンケートの文面についても、ご意見をいただきたい。

【馬道委員】アンケートに「先行再編も視野に入れて」という文言を入れると、

教育委員会も同じ考えだと受け取られないか。また、「乾側小学校をどのようにしていくとよいと考えますか」という聞き方だと、住所を移して乾側小学校以外の学校へ行かせようと考えている保護者は、意見を書きにくいのではないか。この聞き方で、乾側小学校をどうするかという以外の意見は書けるだろうか。

【教育総務課長】そのような意見も書いてもらえればと思う。

【審議監】先行再編も視野に入れて検討されたいということは、市議会からの意見として12月の保護者説明会でお伝えしてある。記入を削除しても、保護者説明会に参加した保護者には意図が伝わると思うが、地区住民の方には伝わらないと思われる。

また、乾側小学校以外に行かせようと思っている保護者も、そのような思いや、乾側小学校がどうなれば他の学校へ行かせなくてもいいと思うかを書いてもらえると考えている。

【關委員】未就学児童の保護者用のアンケートに「乾側小学校に入学させたいと思いますか」という設問を入れてはどうか。

【審議監】あまり具体的な聞き方をすると、教育委員会が誘導したように受け取られる方もいるので、できるだけそれぞれの保護者の思いを率直に書いてもらえるよう自由記載としたい。

【馬道委員】保護者向けのアンケートについて、自由記載だけだと何を書いてよいか分からないという保護者がいるのではないか。地区住民向けのアンケートのように、具体的な選択肢をいくつか設け、その上で自由記載の欄を設けたほうがよいのではないか。何を聞いているのか分かりづらいと思う。

【關委員】アンケートの自由記載欄に記入する人は少ない。

【審議監】保護者向けアンケートの対象は一般の市民の方ではなく、乾側地区の保護者の方である。これまでも意見交換会や議決結果の報告会に参加されており、何らかの思いはあるはずなので、自由記載でも記入してもらえると考えている。

【關委員】アンケートの文言が事務的に感じるので、「子どもたちのために自由に意見を書いてください」というような柔らかい表現を加えると、記入しようという気持ちになるのではないか。

【教育総務課長】乾側小学校をどうするかということ以外にも自由に書いてよいということが伝わりやすくなると思う。

【麻生委員】アンケートの配布方法はどうか。

【教育総務課長】郵便で各世帯に直送する。

【馬道委員】アンケートの結果が大きく割れた場合、どのように取り扱うか難しい。単純に多数決では決められないと思う。

【麻生委員】投票であれば一人一票だが、就学児の保護者、未就学児の保護者、地区住民という区分を考えると、就学児の保護者や未就学児の保護者の意見は少数になる。アンケートの結果が大きく割れた場合にどのように取り扱うべき

かは分からないが、まずはアンケートの結果を示すことになると思う。

【教育長】保護者の意見が第一だと考えている。それを基に地区の方にもご理解いただくことになると思う。

【教育総務課長】アンケート結果が出た後の意見集約についても、未就学児の保護者、就学時の保護者、地区住民という順番を考えている。

【教育長】再編計画の見直しについても、乾側小学校は特例になると思う。アンケートの結果から、教育委員会がある程度の方向性を出して話し合いに臨むことになると思う。

【關委員】「教育委員会が再編の方向を早く出してくれないと、子どもが福井市に家を建ててしまう。」という話を聞く。慎重に検討することも重要だが、スピード感が必要だと感じている。

【教育長】乾側小学校の子どもたちを、ずっと旧蕨生小学校に通わせるということは考えられない。大人の責任として早く結論を出す必要がある。そのためには、保護者の方にもしっかり考えてもらい、一つにまとまってもらいたい。それを地区としても応援してもらえるとありがたいと思っている。

跡地をどうするかということも今後の課題になるが、それを一緒に考えていると前に進まないで、まずは目の前にある課題を解決していきたい。

【關委員】「誰が回答したかは分からないので安心して記入してください」というような文言があると、より書きやすくなると思う。

【審議監】無記名のアンケートであり、返信用封筒にも氏名や住所は書いてもらわないことにしている。

【關委員】そのようなことが明記されていると、安心して回答できると思う。

できれば「これは最後のアンケートです。ご自分の意見を表明できる最後の機会です」ということまで書いてほしい。

【教育長】ここまでの議論をまとめると、「先行再編も視野に入れて」という文言は残すということではよろしいか。また、「乾側小学校をどのようにしていくとよいと考えますか」という設問には「自由にご意見をお書きください」と「誰が回答したのかは分かりません」という文言を加えるということではよろしいか。

——<異議なし>——

【麻生委員】市ではこのようなアンケートを取ったことはないということだが、教育委員会がこのようなアンケートを取ることに法的な問題はないか。

【教育総務課長】ない。

【馬道委員】アンケートの結果は乾側地区の住民説明会のみを使用するのか。他にも公表するのか。

【事務局長】こちらから個別のアンケートの内容を公開することはないが、情報公開請求があった場合に、個人が特定できないアンケートを非公開とできるかについては慎重に検討する必要がある。また、市議会からの乾側小学校の耐震対策は地区の総意なのかという質問に対する答えとしてアンケートを実施する

ものなので、議会からの質問があれば、先行再編を希望する方が多かったとか、全棟耐震を希望する方が多かったといったことは答えることになる。

【關委員】就学児と未就学児の両方がいる保護者は、どちらのアンケートとして集計するのか。

【審議監】基本的には、就学児の保護者として集計することになると思う。

【事務局長】年配の世帯と若い世帯がいる場合は、アンケートは2通送る。

【麻生委員】保護者以外の世帯員がいる世帯については、保護者アンケートと地区住民向けアンケートを送るということか。

【事務局長】そういうことである。

【教育長】乾側小学校耐震対策に関するアンケートについては、以上とする。

【その他】

【教育長】その他、何かあればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】その他については、以上とする。

【閉会】

【教育長】これをもって、大野市教育委員会1月臨時会を閉会する。

午後4時20分終了

令和2年2月28日

(麻生委員)

(馬道委員)